

# 疑問・問題だらけの名古屋城説明会

名古屋城天守を「戦後復興市民のシンボル」に

16日から市内5カ所で木造復元化についての市民説明会が開催されました。全体で延べ340人の参加。合計34人が質問し、そのうち9割は木造復元に反対もしくは疑問の声でした。市と竹中工務店の回答に専門家からは「突っ込みどころ満載」でした。

## Q 上げるのは半分だけ、入場料で採算とれるの？

市の試算では一時間3,000人の来場者を予定するが天守の階段を上げるのは最大で1,500人となっています。エレベーターの代わりにチェアリフトを付けるともっと少なくなります。

(市)「3月末までに試算を精査します」  
←年間360万人もの来場者を予定。「税金は一円も投入しない」という市長の約束は果たせるのか？

## Q 2月の基本設計ではエレベーターはどうする？

建築基準法、地震対策もあつたはず。説明会で「史実に忠実」だけを繰り返すが提案はどうなる？

(竹中提案では耐震・防火・EVありのハイテク木造)

(市)「基本設計はEVありなし2案つくる。(竹)やり残した『安全』は実施設計のなかで検討する。」  
←基本設計は一案のみ。「安全」も含め、全てを説明できないのでは基本設計とは言えない。(国交省告示15号、建築士の説明責任)

## Q 現天守の地下に埋まっているケーソンの調査をしていないが、活用するのか？

(石垣調査ができておらず、ケーソン下の支持基盤に杭をうつのは史跡破壊になり、文化財保護法違反)

(竹)「確かに調査をしてない。よってケーソン基礎の下に杭をうつ工法を採用することに決めた」  
←市の「業務要求水準書」では「ケーソン基礎の耐久性の確認」という項目があり契約違反になる



名古屋市

## パブリックコメントを出しましょう

この他にも竹中工務店の当初案の4人乗りエレベーターには電動車イスが乗れないことがわかったり「どうすれば国宝になるか？」という質問に「わかりかねる」など珍問答も。福祉の専門家からは検討委員会に障がい者の参加が必要との指摘もありました。

ぜひ、みなさんからも意見、質問を出しましょう。(用紙は裏側)

### パブコメ学習会を開催します。

2月8日(木)18時30分～名古屋市民会館第二会議室  
連絡先 TEL080-3069-7722 (西浦)



「空襲で燃えた天守を市民の力で再建した。(現天守は)戦争を忘れないために重要」(→中日記事)



# 特別史跡名古屋城跡保存活用計画（案）について

## 市民のみなさまのご意見を募集します

【提出方法】 郵便・FAX・電子メールのいずれかの方法により下記までお送りいただくか、直接お持ちください。

【提出期限】 平成 30 年 2 月 15 日(木)※郵便の場合は必着

【提出先】 名古屋市観光文化交流局名古屋城総合事務所

◆郵便 便：〒460-0031 名古屋市中区本丸 1 番 1 号

◆F A X：(052) 201-3646

◆電子メール：[nagoyajo@kankobunkakoryu.city.nagoya.lg.jp](mailto:nagoyajo@kankobunkakoryu.city.nagoya.lg.jp)

※提出用紙によらず任意の形式で結構です。

ご住所			
お名前			
性別※		年齢※	歳代
※印の欄への記入は任意です。			
ご意見			

- 市公式ウェブサイトから同様の様式をダウンロードできます。
- 意見の提出にあたっては、任意の形式(ご住所・お名前をご記入ください)でも結構です。
- お寄せいただいたご意見・ご提案に対する個別の回答はいたしません。
- お寄せいただいた個人情報は、本業務以外での利用は一切行いません。

<本冊子の閲覧場所>

各区役所情報コーナー、支所、市民情報センター、市公式ウェブサイト

<お問い合わせ>

名古屋市観光文化交流局名古屋城総合事務所整備室

TEL:(052)231-2488 受付時間:月曜日から金曜日 午前8時45分から午後5時30分